

議員定数検討会記録

開会年月日	令和2年4月24日
開会時刻	午前9時59分
閉会時刻	午前10時27分
出席委員名	◎上村和生 ○久保 真 鈴木豊司 野崎隆太 小山 敏 浜口和久
欠席委員名	—
署名者	—
担当書記	中野 諭
審査案件	1 議員定数について 2 今後の日程について
説明者	議会事務局長 議会事務局次長 議事係長

☆協議の経過並びに概要

◎上村和生会長

ただいまから議員定数検討会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

会議に入る前でございますが、前回の検討会の際に「月1回程度会議を開催し、8月末を目途に議論を行い議長へ答申したい」と説明させていただきましたが、もう少し時期を早めて、7月末をめどとし、結論が早く出るようでしたら、その時点で報告書を作成して、議長へ答申をしたいと思っておりますので御了承をさせていただきたいと思っております。

また答申については、全会一致での結論を出したいと思っておりますが、全会一致とならない場合は、多数である意見を検討会の結論としたいと思っておりますが御異議ありませんか。

野崎委員。

○野崎隆太委員

それには異議があります。

これ、元々各派の流れをくんでいるので、元々各派のときに交渉会派と非交渉会派の人数の話はさせていただいておりますので、賛成はできません。

◎上村和生会長

というような意見がございましたけれどもどうでしょうか、皆さん。

小山委員。

○小山敏委員

多数決でいいんじゃないですか。

◎上村和生会長

野崎委員。

○野崎隆太委員

それがおかしいと言っているのですが。

◎上村和生会長

浜口委員。

○浜口和久委員

言っとる意味はわかるな。

各会派から1人出ておって、あそこで2人出てもらっておるんやんな。

◎上村和生会長

野崎委員。

○野崎隆太議員

それであればここに出てこない会派がここにいるというのもおかしい話ですし、出てきていない会派もほかにいますし、実際いろんな形で配慮をいただいた形でここに参加されていない方もいらっしゃるし、それで配慮された議員からも少し聞いておりますが、公党のためというお話を聞いておりますけれども、全会一致以外では結論は、この会の結論はなしでもいいんじゃないですか。

◎上村和生会長

浜口委員。

○浜口和久委員

そうやけど、答申は出さなならんと思うんさな。（「おっしゃる通りですね」と呼ぶ者あり）どういう形でなろうとしても。

ただ、会派の中、部屋の中、会派から出てきていない人もいるし。

例えばうちやったら6名で、うち一つの会派で6票とか。

◎上村和生会長

ちょっと暫時休憩をさせていただきます。

（休憩 午前10時04分）

（再開 午前10時10分）

◎上村和生会長

休憩を閉じ会議を再開します。

いろいろと議論をいただきましたけれども、ここで検討会の中で意見をまとめていこうということでよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、本日の御協議をお願いします。

案件の議員定数についてを議題といたします。
配付資料について事務局から説明をお願いします。

●中野議事係長

本日配付いたしております資料4枚、A4の片面4枚になります。

右上に資料1-1、1-2、1-3と市議会議員定数に関する調査結果、平成30年12月31日の4枚があります。

それでは資料の1-1から説明をさせていただきます。

こちらについては、県内他市との比較ということで、これは人口順に置き換えて並べております。令和元年7月1日現在です。

これについて、伊勢市は現在6番目ということで、前後は桑名市、伊賀市とありまして、今の議員定数は桑名市と同じというふうになっております。

1の表の下ですが、米印で1、2、3、4とありまして、この表自体が、令和元年7月1日現在で、それ以後の動きについて記しております。

伊賀市議会、名張市議会については、それぞれ定数を削減するという事で議決をしております。

3、4の志摩市議会、尾鷲市議会については、議会内部で議員定数減の結論が出てありまして、改正案を今後議会へ提出する予定ということになっております。

その下の2ですが、県内他市で議員一人当たりの人口が多い順で並べ替えをさせていただいております。これについても1の表と違いはないということでございます。

続いて資料1-2でございますが、こちらは県外になりますが、類似団体の議員一人当たりの人口順になってありまして、この上の表については11万5,000人から13万5,000人ということで、伊勢市の1万人前後の都市の中でどのような状況になっているかというのを表にさせていただいております。その中で伊勢市は真ん中辺りとなっております。

続いてその下の表ですが、こちらはもう少し枠を広げて1万5,000人ということで、伊勢市に比べて1万5,000人前後の都市を掲載しております。

続きまして資料1-3です。こちらは伊勢市の人口、平成26年から令和元年ということで、過去6年の状況を示しております。伊勢市の人口はちょっと減っているという状況です。

その下でございますが、伊勢市の決算での歳出の状況です。過去6年分を記載しております。

次に、市議会議員定数に関する調査結果、平成30年12月31日現在ということで、(1)市議会議員定数の状況でございますが、こちらの表1については、全国815市の市議会議員の定数の状況ですので、1万人程度の都市から100万人以上の都市まで含まれている中での平均でございます。

続いて(2)ですが、人口段階別に見た市議会議員の定数の状況ということで、網掛けしておりますのが、伊勢市が該当する10～20万人未満というところで、該当するのが156市でその平均としては25.7人であるという調査結果を載せさせていただいております。

資料は以上です。

◎上村和生会長

説明ありがとうございます。

ただいまの説明に対して何かありましたら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎上村和生会長

特にないようですので進めさせていただきます。

前回の会議において、「次回の会議では、議員定数についてを議題とし、現状維持か削減か、意見及びその理由を御報告いただきたいと思っております。」とお伝えしましたが、各委員から現在の御意見をいただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。順番に当てさせていただきますのでよろしくお願いします。

それでは浜口委員のほうからお願いしたいと思っております。

○浜口和久委員

私のところは、人口減というようなことがございます。そういった中で、まだ周りの意見を聞いてからという状況には、他の会派の方たちの意見を聞いてからという形になるのですが、うちところの会派の意見といたしましては、人口減というような形なので、今よりも減というふうなところで、まだ人数に対しましては今のところはまだ何人というふうなことではございませんが、定数はちょっと削っていかないかんやろなというふうな意見で、現状維持か減らすか増やすかというそういった3択では定数減という方向で考えております。

以上です。

◎上村和生会長

ありがとうございます。

次に野崎委員お願いします。

○野崎隆太委員

この資料を見せていただいたのですが、資料を見ると、別に平均的というとあれなんです、平均的でもありますし、基本的には会議をするのに必要な人数が何人かという話なので、また予算額とかそういったことも足してですね、人口だけの問題じゃないからそのままということで、維持ということ。

◎上村和生会長

次に、小山委員お願いします。

○小山敏委員

私は、1ないし2名の減という結論なのですが、その理由といたしましては4年前から全く変わっておりません、私の考え方は。

私は伊勢市議会の議員定数を考えるに、何か物差しが必要であろうというふうに前から思っていて、その物差しというのが、私の場合は、人口5,000人当たり議員1人というふうな物差しをつくったというか考えまして、4年前のときに協議をしたときは13万2千、3千だったかと思うんです。それでいくと26人になるんじゃないかということから、私は当時28人の定数だったのを2名減の26名を主張させていただきまして、結果的に26になったのですが、今日ですね、伊勢市の人口を見ますと、ちょっと下がって、12万5,932人ですね。これでいきますと少なくとも1名の減は必要であろうと、私の考えでいきますとね。

ただし、その場合ですと1名減、25名で奇数になりますので、可否同数を避けるため偶数が望ましいのであれば、2名減の24がいいのか、その辺は1名ないし2名、どちらか。どちらにしる減はすべきであろうという考えです。

◎上村和生会長

次に、鈴木委員お願いします。

○鈴木豊司委員

議員の定数を判断するときにはですね、この資料でいきますと、議員一人当たりの人口、この部分が客観的な数値をもってですね、一番説得力が強いのかなというふうに思います。

そうしたときに、小山委員さんと同じような考え方なのですが、他市に比べて人口も減ってきておりますので、1人ないし2人ということで、1人でいいのかなというふうに思っております。

現状においても1名欠員の中でずっとやってきておいて特に問題もないように見受けられますので、1名辺りの減でどうかなと今は考えております。

◎上村和生会長

次に、久保副会長お願いします。

○久保真副会長

私もその現状維持か削減か、この意見ということでしたら削減という方向で、人数については、26名から何名削減するかという問題よりも、削減という方向で考えさせていただきたいというふうに思っております。

その理由としては、先ほどから鈴木委員や小山委員から述べられたようなことでもありますので、そういう形でお願いしたいと思います。

◎上村和生会長

ありがとうございます。

私のところの会派としましては、議員の人数というのは、もちろん自分たち議員でこうやっていろいろと議論しながら決めていくものなんでしょうけど、いろんな人の声を聞くということからすると、多いほうが、本来なら望ましいというのは事実だとそれは思うのです。その辺の部分を含めるとですね、いろんなこと、指標を見させていただく中では、今のところは現状維持の26でいいのではないかというような会派としての意見でございます。

◎上村和生会長

皆さんのほうから御意見をいただきまして、今回は議論に入って1回目ということですので、この程度で終わってですね、次回の会議では、本日の各委員の意見及び本日の資料を元に各会派で御検討

いただき、再度御意見をいただくとともに、本格的に議論へ入っていききたいというふうに思います。

また、議員定数に関する議論に必要な資料がある場合、このような資料を用意してほしいという意見がありましたら、事務局なり私のほうに申し出ていただきたいというふうに思います。

○野崎隆太委員

ぜひともそれでしたら、一つ次回までにお伺いしたいことがあります。5,000人と言われるのは、それは歳費の問題なのか、何で5,000人なのかをちょっと教えてほしいので、次回まででこれは結構なので、5,000人と言われる根拠ですね。先ほど委員長おっしゃっていただいたとおり、多様な意見を反映するなら人数は多いほうがいいので、5,000人でこだわる理由がもし歳費であるならば、全体の総額を下げればいいだけの話なので、そういう議論になるかもしれませんし、なので次回で結構なので、5,000人と言われている方、5,000人の根拠を次回までに、そういうなんか、これもう1回、次回同じことをするとなりますので、5,000人の根拠を教えてくださいって、会派のあるところだとまた会派に戻って話を聞いてくることとなりますので。

なので次回の会議を円滑に進めるために、そこだけ、もしよければ。

◎上村和生会長

野崎委員のほうから5,000人に1人というような根拠についてというご意見がございました。

今回お話いただいた中では小山委員のほうからいただきましたので、小山委員、少し、今の段階で。

まず小山委員。

○小山敏委員

根拠はございません。私の感覚の、私なりの物差しを考えただけのことであってですね、財政状況とか社会状況、一切関係なく、人口5,000人当たりに1人がいいんじゃないかと、ばさっとやっただけのことです。単純な話です。

◎上村和生会長

鈴木委員、もしもあるのであれば今の段階で。

○鈴木豊司委員

次に資料を出させてもらいたいのですが、当初 34 人から 28 人に決定をしたときに、そのときの一人当たりの市民の数を見てみると、そんな程度でずっと推移をしていますので 5,000 人程度がいいのかなというふうに考えています。また、次に資料を出します。

◎上村和生会長

はい、ありがとうございます。よろしく願いいたします。

それではこれで、議員定数についてはこの程度で終わります。

次に今後の日程でございますが、次回開催は来月下旬とし、日程が決まり次第、改めて御連絡を申し上げたいと思います。

以上で議員定数検討会を閉会いたします。

(閉会 午前 10 時 27 分)